【巻頭言】魅力ある沿線・地域づくり

安藤隆司　Andou Takashi

はじめに

当社は明治27年（1894年）、愛知馬車鉄道として創業し、その後、わが国2番目の電気軌道を開業しました。以来、郊外への路線拡張と近隣鉄道会社との合併を繰り返し、戦前にはおよそ現在の路線網となりました。

当社が沿線とする愛知、岐阜のうち、愛知県では人口減少社会が進展する中、今のところ、かろうじて減少に転じていませんが、国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」によると、愛知県でも2045年に2015年と比べて58万人の人口が減少、岐阜県においては47万人の人口が減少すると推計されています。これだけの人口が減少するとなると、鉄道の輸送人員への影響は避けられない訳で、とても危機感を抱いています。

このような社会においても地域交通の足として持続的な成長をしていくためには、地域と連携して魅力ある沿線・地域づくりをすることにより、沿線の定住人口と交流人口を増やすことが重要であり、当社は様々な施策を実施しています。

ここでは、近年の当社の取組みについて紹介したいと思います。

沿線都市観光キャンペーンの推進

当社の沿線にある犬山市は、国宝犬山城や国宝茶室如庵などの名所旧跡や古い町並みといった観光資源を有しています。

当社は、2007年春から犬山市とタイアップして「犬山キャンペーン」を開始しました。犬山城下町における人力車や木曽川での遊覧船の運航を実施するなど、地域が受入体制を整備する一方、当社としては、「犬山城下町きっぷ」・「犬山グルメランチプラン」などの企画きっぷの発売や宣伝活動を行い、多くのお客さまに足を運んでいただいています。

犬山キャンペーンポスター

キャンペーン開始前の2006年には21万人

であった犬山城の入場登閣者数は、犬山キャンペーンを契機として、年々増加しており、2017 年には 57 万人と過去最高を記録するなど、キャンペーンの効果は着実に表れています。

犬山市の他にも、2009 年からは半田市などと、地域固有の山車や蔵といった観光資源を紹介するキャンペーンを実施しているほか、2011 年からは豊川市、西尾市、岐阜市、2015 年からは岡崎市、2018 年からは常滑市と協力して各地の見所を PR するキャンペーンを実施し、沿線地域との連携を拡大しています。

電車沿線ハイキングの開催

こちらは当社駅を起点に沿線の魅力あふれる観光スポット、季節の花の名所や地元のお祭り会場などを歩いて巡るもので、地域の観光協会や地元企業などの協力を得て、年間約 60 回開催しています。

「予約不要・参加費無料」の気軽さや健康志向の高まりもあり、2017 年は年間で合計 14 万 5 千人の方にご参加いただく人気企画となっています。

沿線ハイキングの様子

地域と連携した拠点駅の整備

一方、拠点となる駅やその周辺の整備では、現在、神宮前駅の開発を計画しています。

神宮前駅は名鉄名古屋駅から電車で最短 6 分、中部国際空港駅から 21 分と利便性が高く、年間約 700 万人が訪れる熱田神宮の玄関口の駅です。

東街区については、『おとなの住みたいまち』をコンセプトに、生活拠点となる駅直結の商業施設と賃貸住宅による複合開発を行います。

また、熱田神宮に面する西街区については『おとなの行きたいまち』をコンセプトに引き続き開発の検討を進めています。

商業施設の開発・リニューアル

駅構内のエキナカ商業施設としては、2014年に金山駅の商業施設を「μPLAT（ミュープラット）金山」としてリニューアルオープンしました。

飲食店や生活雑貨店などのテナントが入居しており、「身近だけど、少しワクワク、心が華やぐ！毎日“ぷらっと”立寄れる私の場所」をコンセプトに、お客さまと地域に愛される商業施設を目指しています。

μPLAT 金山

賃貸マンションの展開

沿線の住宅開発では、当社は以前から郊外に戸建住宅向け分譲用地の造成を数多く手がけてきましたが、2016年から、賃貸マンションの新ブランド「meLiV（メリヴ）」シリーズを展開しており、これまで岩倉、栄生、堀田の駅前に建設しました。「meLiV」とは、MEITETSU Living Value の頭文字を取っており、高品質な住環境を提供することを目的としています。

meLiV岩倉では、1階に市内の保育園などへ園児を送り迎えする岩倉市保育園送迎ステーションと小規模保育事業所が入居するなど、利便性の高いマンションとなっています。

meLiV岩倉

リノベーションや資産バリューアップ

また、所有不動産のデザイン性の向上や地域との協働による地域資源の活用を通じて、まちに新たな魅力や価値を創造する取組みも2017年より開始しています。

第一弾として実施した犬山駅西ビルの賃貸マンションでは、ライフスタイル別の異なる住戸にリノベーションしたほか、空店舗区画を子育て世帯向けの住戸へ用途変更しました。

犬山駅西ビルリノベーション

また、1階にはキッズスペースを併設した飲食店を誘致するなど、駅直結という同ビルのセールスポイントを活かし、入居される方に限らず、周辺にお住まいの方、駅を利用される方にとっても魅力的な施設としました。

生活関連事業の展開

生活関連事業の展開による沿線地域の価値向上も進めています。

リハビリ型デイサービス「名鉄レコードブック」

2017 年度より新たにリハビリ型デイサービス事業に参入したほか、学童保育に習い事の要素を付加したアフタースクール事業や 0 歳～2 歳までの少人数のお子さまをお預かりする小規模保育事業にも参入しました。

また、2019 年には温浴事業に参入し、バラエティ豊かな風呂、岩盤浴、リラックスエリア、飲食エリアなどを備えた温浴施設の 1 号店を豊橋市内に開業する予定です。

日本一住みやすいまち、訪れたいエリアを目指して

2016 年に愛知県内 5 ヵ所の祭礼がユネスコの無形文化遺産に登録されました。当社沿線にはこのような価値の高い観光資源が眠っています。

今後も自治体や観光協会と連携し、まだ多くの方に知られていないような沿線の観光資源を発掘・情報発信することで沿線を盛り上げ、拡大するインバウンド市場も含め、更なる誘客に繋げていきます。

中部国際空港アクセス特急「ミュースカイ」

当社グループは、その使命として「地域価値の向上に努め、永く社会に貢献する」を掲げています。

これからも地域と連携して、当社沿線を「日本一住みやすいまち、訪れたいエリア」にしたいと考えています。

安藤隆司（あんどうたかし）　氏　　名古屋鉄道株式会社　代表取締役社長

1955年愛知県生まれ。
1978年早稲田大学を卒業し、名古屋鉄道株式会社に入社。
同社人事部、文化レジャー事業本部等を経て2002年から2004年まで名古屋空港ビルディング株式会社に出向。
2004年名古屋鉄道株式会社東京支社長、2008年取締役総務部長、2010年取締役人事部長、2011年常務取締役、2013年代表取締役専務、2015年代表取締役社長に就任。